

生かせ！ドローンの技術

は飛べます」などと性能を説明していた。

参加者からアンケートを募り、結果を研究グループに送り、このドローンの実用化を目指す。三月までにはかの三つの先端技術で同様の見学会を開く。主催する岐阜大の沢田和秀教授は「見る方も見せる方も、自分の研究に生かしてほしい」と話した。

(鈴木凜平)

長良川に架かる千鳥橋で、先端技術の見学会を開いた。東北大などでつくる研究グループがドローンを使った橋の点検を披露した。

技術の特長と課題を産学官間で共有するのが狙い。国、県や企業関係者、研究者ら約五十人が参加した。

東北大らのドローン

は、プロペラを保護するため、本体の周囲を直径一辺ほどの金属製のフレームで覆ってある。本体の付属カメラは幅〇・二ミリのひび割れも撮影できる。

参加者はドローンが高さ十二メートルまで飛び、橋のすき間に入る様子や、撮影した映像を見たり、担当者は「五分間

高い所で力発揮
橋の点検を披露

岐阜大が見学会

岐阜大は、岐阜市の



橋のすき間に入り込むドローン＝岐阜市長良古津で